05 地域コミュニティ活動

北海道標津町　藤澤　みのり

地域コミュニティ活動

～未来へつなぐ、試せる大地しべつ町へ！～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
石川県金沢市
【転出元】
北海道中標津町
【前　職】
Webメディア、海外PR
【活動時期】
R6.7～R7.11 現在
（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

たまたま標津町内のコワーキングスペースでリモートワークをしていた時に、町の方から標津町の取り組みについてお話を伺い興味を持ちました。
前職では受託者として自治体のスタートアップ支援・地域振興に関わってきましたが、現場で当事者として働いてみたいな、と思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

北海道の東の端っこから、変革を起こしていきたいと考えています。

任期後も一つの形にとらわれず、標津町の未来を作るために必要な形で関わり続けていきたいと考えています。

活動内容

●試せる大地プロジェクトのマネジメント・広報

町の課題解決や新たな産業構築を目指すプロジェクト「試せる大地しべつ町」のマネジメントや広報を担当しています。プロジェクトの進捗管理から、ウェブサイト構築、全体の方針作成などを担当しています。



●地域産品の開発

標津町の特産品である「しべつ牛乳」を使ったジェラートの開発を行いました。本商品の開発時に活用したクラウドファンディング型ふるさと納税を町内の方にも使っていただくため、「チャレサポしべつ」という制度も同時にスタートしました。



●技術者と子どもたちをつなぐイベント

実証試験の受け入れを地域の教育に還元し、ものづくりや科学技術への興味を育むため、小中学生を対象としてグライダーと簡易的なラジコン飛行機の製作イベントを実施しました。
講師は現役のエンジニアや地域のラジコン飛行機の専門家の方に来ていただきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（試せる大地事務局）） contact@tameseru-shibetsu.com
（電話番号（職場）） 0153-85-7240
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（試せる大地しべつ町公式サイト） https://tameseru-shibetsu.com/
（標津町Youtube） https://youtu.be/4StzxgBjE7s?si=fIETMs_sl8gR8Xmb

北海道清里町　岩﨑　如月

地域コミュニティ活動

～地域の挑戦を応援するスペシャリスト　チャレンジコーディネーター～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
北海道紋別郡
【転出元】
福岡県久留米市

【活動時期】
R6.10～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

私は福岡県の大学に通っていて、6年半ほど九州で活動していました。そろそろ新しいところに行ってみたいと考えていたところ、高校生の時に登った斜里岳を思い出し、「斜里岳のある所に住みたい！」と思うようになりました。出身が北海道だったので、雪が恋しかった、というのも理由の一つです。
楽しく仕事ができる環境を探していて、協力隊の募集に出会いました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は幼・保・小・中・高との関わりをつくり、子どもたちが地域でできる経験を増やしていきたいと考えています。地元の良さをもっと感じてもらえる取り組みをしたいです。任期後も引き続き清里町に貢献していけるように活動していく所存です。

活動内容

●清里チャレンジコーディネーター

地域に眠る「やってみたい」「変えてみたい」を発掘します。
課題に感じているところに対してのヒアリング、地域おこし協力隊募集に向けたアドバイス、応募者との面談や現地訪問の伴走など。



●インターン生の募集事業

夏・冬の大学生長期休暇の時期にインターン生の受け入れを実施しています。R7年度からの取り組みなので、現在2回目のインターンのプロジェクト設計を行っています。



●小･中学校でのコミュニティスクールコーディネーター

R7年度より、小中学校にて地域と子どもたちを繋ぐコミュニティスクール事業のため、地域側として学校でお仕事をさせてもらっています。
新しく広がる関係性も増え、よりお仕事の幅が広がっています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kylab01yuzuki.i@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）ちいおこKIYOSATO

@CHIIOKO_KIYOSATO

宮城県仙台市　谷藤　裕

地域コミュニティ活動

～　高齢者が考える、高齢者がワクワクできる地域社会の実現　～

基本情報



【年　齢】
６３歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
会社員（ANA）
【活動時期】
R6.11～R9.10（予定）

協力隊に応募したきっかけ

サラリーマンとしての節目（定年）を迎え、企業のブランドやアセットに依存しない働き方について考えるようになりました。前職では地方都市の民力低下による課題の顕在化に触れる機会が多くあり、個人レベルでも参入可能な地域課題への取組みを実現するには「地域おこし協力隊」は理想的な受け皿だと思えたため、再雇用の期中ではあったものの応募に至りました。特に出身地である仙台市（泉区）での募集を見つけて、運命的なめぐりあわせを感じ、年齢も忘れて挑戦することにしました。

今後の抱負・任期後の目標

活動のテーマである「高齢者が考える、高齢者がワクワクできる地域社会」の実現に向けて、高齢者とのコミュニケーションを高めるための企画（イベント・教室等）、および高齢者の地域社会活動への参画を促進するためのプラットフォーム作りに傾注していきます。「高齢者が考える・・」の高齢者は現在は自分自身を指していますが、活動の経過とともに地域の高齢者の方々の総称にできるような活動に浸透させていきたいと思います。

活動内容

●協力隊活動計画のプレゼン実施（2025年4月24日）

泉区役所にて主にまちづくりに携わる職員（約20名）に向けて協力隊員の中期活動ビジョン、および活動計画のプレゼンを行いました。意見交換の時間では、参加者から高齢者の地域活動参画への期待が寄せられる一方、実感している課題等を共有する等、活発なコミュニケーションが醸成出来ました。



●おとなの文化祭の開催（同　6月28日）

ブランチ仙台を会場として高齢者を主たるターゲットとする賑わいイベントを開催（集客実績 約300名）。関係事業者と連携のもと、昭和の学校給食や往時の街並み動画を懐かしむ企画やスマホ相談会、運動教室等を通じて多世代交流を企図するとともに、賑わいの創りを行いました。



●おとなのスマホ教室の開催（同　10月27日）

高齢者向けスマホ教室をまちづくりスポット仙台にて開催。スマホは所有してるけど「詐欺や高額請求が怖くて使えない」「ショップでは親切に教えてくれない」等々のお悩みに対応。大学生を講師＆サポーターとしてマンツーマンレッスンを実施（16名参加）。11月、および来年2月にも開催予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））　ryoandhal@gmail.com
（電話番号（個人））　090-2462-6599

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/yutaka.tanifuji.9?locale=ja_JP

山形県酒田市　浅井　ひろ恵

地域コミュニティ活動

～　カフェを通して地域をおこす　～

基本情報



【年　齢】
49歳
【出身地】
山形県酒田市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
教員、飲食業　他
【活動時期】
R7.６～

協力隊に応募したきっかけ

幼少期から祖母の家のある酒田市日向地区をたびたび訪れており、いつかここで暮らし働きたいという思いをずっと抱いてきました。子育ても終わり今までの経験を活かして何かしたいと考えていたときに、日向地区の地域おこし協力隊の募集があることを知りぜひ応募したいと思いました。地域のコミュニティセンター内にあるカフェの運営に関わるというミッションも、将来的にカフェを開業したいという私の夢とも合っていたので魅力を感じ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

将来的には、自然素材を使った衣料の販売や、自家焙煎のコーヒーを提供する店を開業し、地域に根差した暮らしと事業を実現したいと考えています。その第一歩として、地域の拠点である日向里かふぇの運営に関わりながら、地域のニーズを学び、人と人をつなぐ場所づくりに携わりたいと考えています。

活動内容

【カフェでランチを担当】

日向コミュニティセンター内にある日向里かふぇにて毎月数回ランチを担当しています。地元のお米や野菜を使った手作りの１２種類の小鉢と季節のおにぎりの「おにぎり御膳」を提供していますが、新たなメニューを開発するため日々格闘中です！



【毎月ワークショップを開催】

６月に協力隊となって翌月の７月から毎月ワークショップを開催しています。梅仕事、柚子胡椒作り、コーヒー焙煎のワークショップ、そば打ち体験教室など自分で講師を務める場合もありますが、講師の方をお招きして開催することも。隣の県や市から参加してくださる方もいらっしゃいました。



【RMOとの連携】

日向ふるさとづくり協議会と連携し、地域の課題解決にも取り組んでいます。鳥獣害対策の一環として唐辛子の栽培や耕作放棄地でのクランベリー栽培を行っているので、収穫などの活動に参加したりそれらを使った特産品やカフェの新メニューの開発などを担当しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)
hiroro1020010203@gmail.com
(電話番号)
0234-64-4913　日向コミュニティセンター

【日向里かふぇインスタグラム】

Instagram

福島県玉川村　有光　七月

地域コミュニティ活動

～人と地域を面白くする、公民館のプロデューサー～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
高知県 芸西村
【転出元】
東京都 足立区
【前　職】
広告業
【活動時期】
R6.2～(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

東京で社会人をしていた頃、Instagramのストーリーズに玉川村主催の移住促進イベントの広告を目にし、軽い気持ちで参加。そこで出会った1歳年上の現役の楽しそうな雰囲気や活動内容を聞いて、面白そうだなと感じたことがきっかけ。

今後の抱負・任期後の目標

現在、実施中の自主企画「いとおかしな放課後公民館」の事業規模を拡大し、こどもたちにとって、楽しく学べる場として、定着させることが当面の目標である。また、任期後も玉川村での定住を視野に入れ、有効な資格の取得や仕事につながる経験を積んでいきたい。

活動内容

●活動概要

・公民館及び公民館図書室業務補助
・公民館を拠点としたイベント企画
・SNS等での情報発信
・チラシ作成

●現在の活動についての感想

入隊して始めの1週間こそ、何をすれば良いか不安だったが、玉川村を知ることや公民館の内情を把握することに注力し、企画の着想へと繋げていった。そして、最初は公民館のSNSを充実させることから始め、現在も少しずつ伸びを見せている。図書室を有し、自主企画を含めて様々な事業を行っている公民館をどのように発信しようか、模索しながらコンテンツを考えるのはとても楽しい。自主企画として運営している「いとおかしな放課後公民館」は、経済体験やものづくり体験などを中心に、こどもが楽しく学べる居場所づくりを目的とした施策である。現在は週１～2回実施しており、小学生を中心にたくさんの楽しみにしてくれるこどもたちも増えてきて、少しずつ手応えを感じている。今後は、就労体験や政治体験など、社会の仕組みを体験できるコンテンツを計画中であるが、少しずつ形にしていきたいと考えている。こどもたちにとって、楽しく学べる場として、定着してもらえればと思う。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

電話番号　0247-57-4632（玉川村公民館）

茨城県八千代町　DUONG TRAM ANH（ズオンチャムアイン）

～八千代と世界の架け橋に～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
ベトナム国
トゥエンクアン省
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
留学生
【活動時期】
R7.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

私自身が来日後の困難を乗り越える中で、同じ課題に直面するベトナム人留学生や技能実習生を支援したいと考え、サポート活動を始めました。役所手続きや病院の付き添い、面接練習のような手伝いをし、様々なアルバイトを通じて通訳・翻訳の経験を積み、日本人と外国人の架け橋を目指しています。八千代町を知ったきっかけは、ベトナム・旧ラックズオン県との友好都市提携でした。町の温かさや自然に魅力を感じ、地域おこし協力隊として地域の活性化に貢献したいと考えています。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、八千代町の住民の皆さんと外国籍の方々との交流を深める活動に取り組みます。外国籍の方に町や日本の生活を理解してもらうため、防災・避難訓練で通訳を行い、日本人との交流促進のためイベント参加を呼びかけます。最終的には独自の交流イベントを開催し、より深い相互理解を図ることを目標とします。
任期後は起業と同時に企業に勤めることを考えています。町の活性化に協力隊とは別の形で貢献できるように活動していきたいと思います。

活動内容

●活動内容　学習講座等、地域イベント参加の呼びかけ

・外国籍の方に日本のルールやマナーを正しく理解し、楽しく安全に生活できるようにSNSなど通じて町内の規則や日本の生活マナーを発信しました。
・在住外国籍の住民に八千代町を知ってもらい、日常と異なる交流の場を通じて新たな出会いや生活の励みを感じてほしいです。関係部署と連携して企業やコミュニティグループを通じて呼びかけました。



●活動内容　青少年派遣事業に係るサポート

八千代町在住の高校生・専門学校生・大学生を対象とした青少年海外派遣事業において、ベトナム訪問・交流の企画・計画に携わり、現地にも同行して通訳や活動のサポートを行いました。
現地での交流や生活体験を通じて、町内の青少年が海外の文化や生活環境について知るとともに、日本の生活環境について改めて考え、その違いや価値を感じる機会となりました。

●活動内容　国際交流イベント

・お互いの文化を知り、興味を持つことが相互理解につながると考え、浴衣やベトナム衣装の試着体験会、料理作り体験会、中秋節体験会などを開催しました。体験を通じて、外国人住民と地域住民が気軽に交流し、お互いの文化に関心を持つきっかけづくりを行いました。
・3年目の目標として、独自の国際交流イベントを企画・実施します。令和7年度は「八千夜一夜物語～八千代町で出会うベトナムの片隅～」を開催し、食や音楽、ゲームなどを通じて、地域住民と外国人住民が互いの文化を知り、交流するきっかけをつくりました。





連絡先

・メールアドレス　個人　chamuain.yachiyomachi1122@gmail.com
　　職場　hisho2@town.ibaraki-yachiyo.lg.jp
・電話番号（職場）　　0296-48-1111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook, instagram）

栃木県真岡市　粟村　千愛

～　人とつながるまちづくり　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
34歳
【出身地】
福島県郡山市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
ウェブメディア編集者
【活動時期】
R4.4～R8.3
（育休取得）

協力隊に応募したきっかけ

子育てをきっかけに、地域で仕事をしたいと思ったため。
地域の仕事を探しているとき、真岡市の募集内容を見て、自分のスキルを活かして地域に貢献できるのではないかと考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

複合交流拠点monacaのコンセプトブックを制作中。
市議会議員のインタビューも実施中です。

任期後はインタビューやライティング、編集などのお仕事を探しつつ、batonの活動、まちづくりに関わる活動、協力隊のサポートなどもできたらと思っています。

活動内容

●まちつくインタビュー

真岡でまちづくりに取り組む方々を取材・撮影して記事をつくり、市ホームページや広報誌、noteに掲載。これまで３６人を掲載。認知拡大、つながりの構築を目指しています。



●こそだてもおかbaton

大人になった私から、ここで生きる子どもたちへ。
大変だった過去の私から、いま頑張るママパパへ。
明日を今日よりちょっと良くするために、ひと、もの、ことをつなぐbatonになることを目指して活動するコミュニティ。







地域情報誌の制作、Instagramでの情報発信、イベント開催など行っています。本の交換会「よむよむピクニック」では、これまで約300冊の本を寄付いただき、市内のお店などと一緒に市内各地で交換会を開催しています。子ども服交換会は600着以上の寄付をいただき、半分以上が交換されていきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
真岡市プロジェクト推進課
（メールアドレス）project@city.moka.lg.jp
（電話番号）0285-81-6949
note　https://moka-city.note.jp/
Instagram　@moka_baton

@MOKA_BATON

埼玉県秩父郡横瀬町　今中　知広

地域コミュニティ活動

～　ボードゲームを用いた新しいコミュニティづくり～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
大阪府吹田市
【転出元】
大阪府吹田市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R6.5～R7.10現在

協力隊に応募したきっかけ

横瀬町は「日本一チャレンジする町」というスローガンを掲げているのですが、そんな雰囲気とそこに住む方々、地域おこし協力隊として活動されている方々を見て、応募を考えるようになりました。
横瀬町には商店街のような中心地が無く、人が集える場所を作りたいという町の願いがあったのですが、それが自分の普段行っていたボードゲーム制作の仕事とマッチすると感じ、応募することを決めました。

今後の抱負・任期後の目標

「遊び」は軽視されることもありますが、年齢や肩書などを取っ払ってくれるものだと考えています。
「遊ぼう！」という言葉から、ちびっこやお年寄りの方問わず交流が始まるようなきっかけを増やすことができればと思っています。また、遊ぶために外に出たり、それがちょっとした運動になったり、遊んだ人が悩みを言い合える友達になったり、そんな状態を自分がいなくなっても作り続けれればと思っています。

活動内容

●町に無料で遊べるボードゲームコーナーを3箇所設置



町の中心地の建物「Lab横瀬」、高齢者の方が集まる「総合福祉センター」、駅前の休憩所「アスタバ」の3箇所に設置しました。お昼間にはご家族、放課後にはちびっこがよく遊んでくれています。近くに集まれる場所ができることが自分は理想だと考えているので、今後も増やしていければと思っています。

●おすすめのボードゲームと謎解きのチラシ『ボド謎』をR6.10より毎月全世帯配布



まずボードゲームが何かを知ってもらうためにチラシの全世帯配布を開始しました。裏面には謎解きコーナーがあり、答えは町の中心施設に貼っているので、そこで来てくれる動線を引いています。

●福祉センターや高齢者サロンさん等でのボードゲームイベントの開催



高齢者の方に「私にはできない」と最初は言われてしまうのですが、遊んでみたらそんなことなくイベント時は毎回楽しく遊んでいただけます。福祉センターさんではゲーム好きの利用者さんが居り、毎日ボードゲームで遊ぶグループができているそうです。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）avignongames@gamil.com
（電話番号（個人）080-5715-5535

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://note.com/yokoze_boardgame

活動note→

新潟県十日町市飛渡地区　松井　奈々

地域コミュニティ活動

～　共に考える地域の変わり方　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
研究技術職
【活動時期】
R5.04~R8.03

協力隊に応募したきっかけ

結婚を機に当時暮らしていたアメリカ、アラスカ州から日本に帰国することを決断したのですが、ここに住みたいと思える場所が決まらないまま実家のある大阪で半年ほど生活しました。アラスカ育ちの夫も、私自身も都会になじめない日々の中、田舎での生活と仕事が同時に試せる協力隊という仕事があることを知りました。様々な県・地域を検討した結果、2週間のお試し、2か月のインターン期間を経て迷いなく飛渡地区に決めることができました。

今後の抱負・任期後の目標

ありがたいことに、地域の沢山の方から仕事やお家を紹介いただき協力隊退任後もこの飛渡地区で生活する目途が立ってきました。3年間真剣に向き合ってきた”地域”という存在。これからはもう協力隊関係なく私たちの住む場所です。目標は「ここはいい所だよ」といつも言っている近所のおばあちゃん。いつか私がおばあちゃんになった時も若い人にそう言えるような私であり、この地域でありたいです！

活動内容

●食と農を考える飛渡の会　運営支援

約10年前に初期の協力隊が立ち上げた野菜直売所を軸に、形を変えながら続いてきた「食農会」。今年は出荷者減少に伴い、惜しまれながらも週2回の直売所は断念。月に一回のフリーマーケットとランチ会で、地域の集える場としての在り方を皆で模索中。その時々の地域に合わせ協力隊も柔軟にサポートを頑張りたいです！



●公民館事業、集落行事、伝統文化活動への参加

地域の中心である公民館を活動拠点に、飛渡地区14集落の道普請や季節ごとの行事に、3人の協力隊で分担して参加しています。また、伝統文化継承支援として、あわせおけさ保存会、わら細工の会にも所属しています。私たちを通して他の集落や様々な会の様子、変わっていく地域を住民の方にも感じてもらっています。



●協力隊主催イベント

英語で遊ぶ会をしたり、昔の地域の写真でスライドショーをしたり、日々の地域の方との交流の中から思いついて企画するイベントもあります。ちょっとした会話の中の「あったらいいな」を拾って、地域の方が楽しんだり新しいことに挑戦するきっかけを作れるよう意識しています！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（一社）里山プロジェクト
メールアドレス　satoyama.project6@gmail.com
電話番号　025-595-6670

新潟県小千谷市　福嶋　彩加

地域コミュニティ活動

～　世代を超えてともに育む親子の遊び場と居場所づくり　～

基本情報



【年　齢】
23歳
【出身地】
群馬県藤岡市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
学生
（京都芸術大学卒業）
【活動時期】
R7.3～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

大学で得た、芸術と保育の２つの分野をいかした仕事をしたいと考えていた。就職活動をしている際に「地域おこし協力隊」というものを知り、大学で学んだ「こども芸術」を活かせると思い応募した。

今後の抱負･任期後の目標

　今後は、市民の方とも一緒に子ども向けのワークショップを開催し、たくさんの子どもたちと市民の方と関わっていきたい。
　来年以降は市内の出張として、市街地に行くことが少ない子どもや親子が楽しんでいけるようなイベントを考えたい。
　子ども、親子のコミュニケーションを大切にしたワークショップを通して、家ではやりにくいこと、できないことなど「非日常体験」を提供したい。

活動内容

●“遊ぶ･学ぶ･育てる“のワンストップ支援

図書館機能を核にさまざまな機能が同居する複合施設「ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」で、子育て支援を担当。子どもの遊び場（屋内広場）には、絵本とともに、市内の保育園・幼稚園の未就学児親子向けのお便りや、子育て支援施設からのお知らせ、市内子育てサークルの紹介など、子育てに関する情報を合わせて収集・発信。



●親子向けワークショップ

毎月第2・第４水曜日に未就学児の親子向けワークショップのほか、毎年8月の「おぢやまつり」の時期には、まつりの風物詩「からくり万灯」に見立てた提灯型のミニ万灯づくりを開催。文化に触れながらものづくりを楽しむ体験、親子交流の場を創出。



●世代を超えてつくる子どもたちの“絵本の洞窟”

子どもの遊び場（屋内広場）の中にあるすべり台下は、思い切り遊んだあとに心落ち着かせて絵本を読むことができる空間となっている。そこの書棚にご家庭で不要になった絵本を募り並べることで、このまちの人々がみんなで子どもたちを育てていく空間として企画・運営。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
小千谷市　にぎわい交流課（ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。）
（メールアドレス（職場））hontoka@city.ojiya.niigata.jp
（電話番号（職場））0258-82-2724
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/hontoka.play_leader/

新潟県新発田市　小川　拓実

地域コミュニティ活動

～　市内コミュニティセンターの利活用促進　～

基本情報



【年　齢】
２４歳
【出身地】
大阪府豊中市
【転出元】
大阪府豊中市
【前　職】
学生
【活動時期】
R６.４～R９.３

協力隊に応募したきっかけ

学生時代、スポーツの指導について学んでいました。
その経験やスキルを活かして、地域おこし活動に取り組みたいと考え、協力隊になる道を選びました。
新発田市を選んだ理由は、学生時代から関わりがあったことと、協力隊配置に対する市の考えに共感したことでした。
また、新発田市が独自に配置している『コミュニティセンター利活用促進担当隊員』のミッションにも惹かれました。
市のサポート体制も充実しており、私のスキルを活かした地域おこし活動を行える環境であると考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在、市内に１０か所あるコミュニティセンターを拠点として、地域活性化に向けた取り組みを行っています。
コミュニティセンターの利用者数増加を目標として、地域の皆様が気軽に足を運べるセンターづくりを行いたいです。
私の任期後も持続されることが重要であると考えており、“地域主体の地域づくり” を目指して活動していきたいです。
任期後の目標は、協力隊での経験や自身のスキルを活かし、新発田市の皆様から必要とされる仕事をすることです。

活動内容

●コミュニティセンターを活用したイベントの開催

センターに足を運んでもらう『きっかけ』をつくることを目的として、さまざまなイベントを開催しています。スポーツ体験会、ものづくり教室、ゲーム交流会など、バラエティ豊かな企画を行っています。
その中には、地域の皆様と協働して開催する催しもあり、地域コミュニティの活性化に寄与しています。



●サークル活動団体の立ち上げサポート

センターを会場として定期的な活動を予定する地域団体を対象として、新規のサークル立ち上げ支援を行っています。具体的には、会場についての相談、チラシの作成、メンバー募集を目的とした体験会等の企画運営補助を行います。地域主体の持続可能なコミュニティづくりを目指しサポートをしています。



●出張講座 (スポーツ担当)

市内各地に足を運んで、出張指導を行っています。モルック、ボッチャなどのインクルーシブスポーツが人気で、児童施設から老人クラブまで、幅広い層の方々からご依頼をいただき、スポーツの楽しさを伝えています。隊員にとっては、地域交流の貴重な機会となっており、自身のPR活動の役割もあります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiikizukuri.ss@shibata-chiikizukuri.net
（電話番号）070-4483-7936

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（新発田市地域おこし協力隊 SNS）Instagram→ Facebook→

石川県珠洲市　都築　鈴

地域コミュニティ活動

～　地域コミュニティの復興支援　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
山口県山口市
【転出元】
山口県山口市
【前　職】
雑貨屋店員
【活動時期】
R7.8～

協力隊に応募したきっかけ

昨年末にボランティア活動の合間で訪れたのをきっかけにこの土地の自然や人々、またそこで営まれている暮らしの魅力を知り、そんな暮らしが絶えることなく続いてほしい、また自分自身も地元の方達に学びながらここで暮らしていきたいと強く思いました。またボランティア活動でできた地元の方たちや県内外の方達との繋がりを活かして地域のためにできることがあるかもしれないと思い、協力隊への応募にいたりました。

今後の抱負・任期後の目標

震災の影響が大きかった町であるため、まずは地元の方達が生活に満足しながら暮らしを続けられること、避難されている方が帰りたいときに帰って来れる環境を整えること、そしてここでの暮らしに魅力を感じた人が通ったり、移住しやすくなるような場所づくり、きっかけづくりをしていきたいです。任期後は子供支援や宿の運営続けながら、畑や田んぼ、漁などここで先人たちがしてきた暮らしを自分もしていたい！

活動内容

●地域のニーズ調査と諸団体との連携

地元の方から求められていることを聞き取り、個人的にお手伝いしたり、行政や地元のNPO団体や県内外のボランティア団体などにお繋ぎしたり、支援の受入れ等をしています。泥出しや家財整理などの復旧作業やイベント・ツアーの受入れ、地域イベントのお手伝いが主です。



●子ども支援活動

地元のNPO団体と連携し、毎週水曜に中学生向けの放課後プログラムと、月に2回市内の親子向けのイベントを開催しています。放課後プログラムではアート分野に関心の高い地元の子どもたちに自身のイラスト業を活かしたワークショップや地元の方を講師に招いたこの地ならではの体験を提供しています。



●空き家活用に向けた取り組み

空き家を活用し、避難していて地元に泊まるお家がない方が泊まれる宿を運営しようと計画しています。予約に空きがあるときは県内外から支援で来てくださる方やここでの暮らしに興味がある方が滞在できるような場所として活用したり、地元の方が立ち寄れる場所として開いていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iju@city.suzu.lg.jp
（電話番号）0768-82-7726
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/suzu_chiikiokoshi_suzu?igsh=MWUyd3F6ODBqZTN5ZQ%3D%3D&utm_source=qr

福井県高浜町　森本　元樹

～　高浜町まちづくりコーディネーター　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
51歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
総合物流・人材派遣業
【活動時期】
R6.4～R9.3（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

子どもの頃に家族旅行で訪れたことがずっと記憶にあり、自分で旅行に行けるようになった年頃に再訪するようになりました。その中でたまたま大きな花火大会と20年続いた漁火想というイベントに出会い、以来30年以上も毎年夏に2回訪れていました。そこへ4年ほど前からキャンプでも訪れるようになり、夏2回から年10回以上に訪問率があがり、いっそ移住してしまえと思い、どうせなら今までお世話になった高浜町へ何か貢献できたらと思い、地域おこし協力隊の募集に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

そろそろ任期後のことで頭を悩ませる頃かなと思います。その前に、任期中に昔ながらの継続している催物に持続可能な手順を考慮していきたいと思います。まず、高浜町が、地域住民のみなさんが楽しめることを優先していくことで、楽しさや、魅力が町外にも溢れ出るよになればなと思います。退任後は、新たに興味を持った釣り船（遊漁船）を開業して、自然、宿泊、旅行、飲食、施設利用と紐づけて、高浜町内の起点になれればなと考えています。
でもまだキッチンカーにも挑戦したいと欲張り中です。

活動内容

●定例のイベント運営

色々な定例のイベントが年３回～あり、会場を決めたり、必要な什器の手配、地元出店者さんへお声がけ、地域の小学校や中学校、町に根付いたイベントの運営などをしています。古き良きを残しつつ、新たな企画も盛り込んで、どんどん盛り上げていきたいです。



●有形文化財建物での展示

日々、職場として通っている建物は、実は登録有形文化財として歴史ある建築物で、１階の展示スペースを有効活用して、町にゆかりのある方や福井県内の出展者さんの作品展示をしています。建築物として外観を眺めるだけではなく、中にも入っていただいて、ゆっくり展示作品を鑑賞して欲しいです。



●SNS発信（準備中）

着任して早１年半。これまではしていなかったSNSで、趣味の釣りやキャンプ、グルメなどを町の風景と一緒に発信していく準備をしています。特に自然と食を中心に、旅先なども一緒に含めて、まずは日本中に町がつながるような活動を目指したいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））4500motoki.4500morimoto@gmail.com
（電話番号（個人or職場））090-8381-0388

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
«Instagram»
https://www.instagam.com/11motoki/profilecard/?igsh=OWZpbDI4Y3QxMzZk

岐阜県中津川市　原田　佳苗

～　地域の魅力を域学連携を通じて伝えます　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
愛知県豊橋市
【転出元】
愛知県豊橋市
【前　職】
住宅設計
【活動時期】
R6.5～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

活動地である岐阜県中津川市加子母には大学生時代に出会いました。木造建築を学ぶ「加子母木匠塾」という域学連携の活動に参加し、毎月通っていました。大学卒業後は働きながら木匠塾の活動をサポートしたり、地域の行事に参加しながら通いました。その後、自身の博士課程への進学を期に移住することを決心しました。

地域に関心を持ったきっかけであり、研究対象でもある域学連携の活動をより良くしていく為に協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在は就任して1年半年経ちました。今後も地域行事に積極的に参加しつつ、学生の活動のサポートも継続して頑張りたいと思います。

任期後も継続して地域に関わっていきたいと考えており、大学生だけでなく、大人や子供も「誰もが学びにくる地域」として地域をブランディングしていきたいと考えています。

活動内容

●域学連携事業（大学生のサポートなど）

加子母地域で活動する大学生は毎年300人前後おり、その学生たちのサポートをしています。木造建築実習を行う木匠塾の活動では、宿泊施設や生活のサポート、道具の貸し借り、畑作業、制作物に対する助言などをしています。

また、木匠塾活動についての視察対応をきめ細やかに対応し、域学連携事業の推進に寄与しています。



●域学連携 拠点の整備

これまで地域で活動する大学生が卒業後に帰ってくる拠点がなく、地域でゆっくりとした時間を過ごすことができませんでした。そのような状況を変えるため、卒業生にも手伝ってもらいながら拠点を整備しています。写真は卒業生に耕してもらった畑でできた野菜を収穫した様子です。



●地域の魅力を発信する広報活動

地域で暮らし始めたことで行事にも参加できるようになり、地域の魅力をたくさん知ることができました。その魅力をもっとたくさんの人に知ってもらえるよう、広報活動を行っています。SNSでは学生にも伝わりやすいようInstagramを中心に発信しています。木匠塾史の出版準備も進めています。



連絡先

メディア等の取材連絡先】中津川市役所地域づくり協働課
(地域おこし協力隊担当者)
（メールアドレス（個人or職場））kyodo@city.nakatsugawa.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0573-66-1111（内80-4503）

京都府福知山市　髙橋　恭子

地域コミュニティ活動

～　農家をつなぎ地域に愛されるファーマーズマルシェの立ち上げ　～

基本情報



【年　齢】
52歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
京都府向日市
【前　職】
医療事務
【活動時期】
R７.11～R９.10

協力隊に応募したきっかけ

昔、友達と一緒に見た星空が忘れられず、将来は星空の綺麗な所で農業をしながらまったり猫とのスローライフを夢見ていました。
福知山には何度か遊びに来たことがあり、ちょうどいい田舎感が気に入りました。福知山に住めて農業も学べる上に地元の人との繋がりももてる。それが仕事になる。といういい条件しかない地域おこし協力隊の募集を見つけて即応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

あと任期が2年あるので、その間にひとりでも多くの人が笑顔になれる中六人部（なかむとべ）にしていきたいです。人との繋がりを大切に、missionに取り組むとともに、任期後も地域の課題の解決となるような仕事をしていきたいと思っています。

活動内容

●なかろくマルシェ（ファーマーズマルシェ）の運営

月に1度、閉校になった小学校を活用した『 THE610BASE 』（ムトベース）でなかろくマルシェを開催。会計にエアレジを使用し、会計をスムーズにできるようになりました。
今後は農作物の講習会なども開き、出品者の会員拡大が目標！



●体験型農園の開設

R8.3月プレオープンを目指して、地域づくり協議会事務所前に体験型農園を開設予定。
実際に体験型農園をされている所に視察に行ったり、色々な事を勉強したりしながら日々奮闘中！



●地域間交流

年に2回、夏と秋に開催される地域のお祭りで、浴衣の無料着付けの催し、マルシェの出店で参加。中六人部初の移住者交流会も開催！今後は、ワークショップなども開催したいので、我こそは！と思う方はぜひご連絡ください！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））chiikiokoshi.1101@gmail.com
（電話番号（職場））0773-45-8005
中六人部地域づくり協議会（ミライト中六）
HP　https://www.nakaroku.net/miraito01.html
メールアドレス　info@m-nakaroku.com

京都府福知山市　岩尾　美咲

地域コミュニティ活動

～　半農半Xの暮らし方。ゆとろぎの里で新しい仲間をつなげよう。「地域活動の仲間づくり」　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
京都府福知山市
【前　職】
アパレルパタンナー
【活動時期】
R6.11～R9.10

協力隊に応募したきっかけ

祖父母の家が福知山市にあったことから、幼少期から田舎暮らしに憧れていました。移住するなら地域おこし協力隊制度を使って地域に入りたいと以前から考えており、丁度転職のタイミングで福知山市が５年ぶりの募集を行いました。風の時代と呼ばれる今、その風に吹かれるままに移住してきました。生まれ育ちが関東ということもあり寂しいこともありますが、充実した毎日を過ごしていて、後悔はしていません。

今後の抱負･任期後の目標

任期後も福知山市大江町に根を張り、大江町のまちづくりそのものを仕事として持続させていきたいと考えています。
オープン予定の柊結舎の運営を軌道に乗せることに加え、衣食住に関わる取り組みや地域資源を生かした事業を展開し、大江町の豊かな暮らしと魅力を未来につなぐ活動を続けていきます。

活動内容

●衣食住の店〝柊結舎-syuyusya -〟

大江地域に唯一残る茅葺民家を使用し、令和8年7月に「柊結舎」をオープンする予定です。大江町の農産物を使用した定食やドリンク、ケーキなどを楽しめる喫茶と、生活雑貨や古道具の販売を行います。 地域の誰もがそれぞれの形で地域づくりに関われるような開かれた場所を目指し、日々地域の方々と共に温かな場を育んでいきます。



●リヤカースタンド〝柊結車-syuyusya -〟

地域に眠っていた古いリヤカーを改造して、どこか懐かしいけどおしゃれな屋台を制作しました。地域のおかあさん達から果物などを買い取り、砂糖やスパイスに漬けたり煮込んだりしてシロップドリンクやお菓子を作ってイベントで販売しています。



●井戸端会議/夜座

井戸端会議は女性達、夜座は30代までの若者。
様々な分類で食事等の体験を通して雑談をできる企画を定期的に行っています。たわいもない話で親睦を深めるのはもちろん、私も新しい発見や活動のアドバイスをもらっています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））omiproducts.design@gmail.com
（電話番号 ）090-9672-5868
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）@omi _me__02

OMI_ME_02

京都府京丹後市　野口　加奈恵

地域コミュニティ活動

～　カヌーなど地域資源を活かした地域の活性化　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
福岡県朝倉市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.3～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

何度か京丹後を訪れる中で、豊かな自然環境（特に久美浜湾）に魅了され、またここで出会った地域の方々が魅力的で、「ここに住みたい」と思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

自身が立ち上げた任意団体「CANOA KUMIHAMA(カノアクミハマ)」でカヌーやSUPの体験を通じて、久美浜湾の魅力を感じていただく活動を継続していきたい。

久美浜湾だけでなく、まちの歴史や町並みなども含め、大好きな「久美浜一区（活動拠点）」全体をフィールドにした観光ガイドもしていきたい。

また「ゴミ拾い」が自身のライフワークであり、まち歩きやカヌー体験を通じて地域内外の方を巻き込んだ「クリーン作戦」を実施しているが、この啓蒙活動についても継続していきたい。

活動内容

●自治会主要メンバーとしての地域活動へ参画



受入地域である久美浜一区自治会の事務局として、地域住民の声収集（アンケート実施）や自治会便りの編集・発行、地域の方々を巻き込んだイベントの開催など多岐にわたる地域活動に参画している。

アンケートでの声にこたえ、地域公園内にブランコや鉄棒も設置した。

●地域の拠点施設を「人の集う場」に



地域の拠点である久美浜福祉センターにて、赤ちゃん～小中高生～ママパパ世代～お年寄りまで、あらゆる層をターゲットにしたイベントやセミナーを開催している。平日の放課後は子どもたちに宿題をする場所（遊ぶ場所）として開放するなど、土日だけでなく平日も人が集う場になっている。

●任意団体「CANOA KUMIHAMA」の立ち上げ



地元でカヌー競技をしてきた仲間と共同で任意団地を立ち上げた。カヌー体験を通じて久美浜湾の魅力を伝えるとともに、お子さんからお年寄りまで楽しめるカヌーの普及にも取り組んでいる。波が穏やかな久美浜湾ならではの水上アクティビティとして、注目の刊行コンテンツとなっている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）canoa_kumihama

京都府京丹後市　仲江　勇馬

地域コミュニティ活動

～　商いのまちの活気を取り戻す　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
京都府与謝野町
【転出元】
東京地新宿区
【前　職】
動画クリエイター（継続）
【活動時期】
R4.2～R7.1

協力隊に応募したきっかけ

島津の人たちが優しく、住んでも楽しそうだったから。

今後の抱負・任期後の目標

かつて商いの町と言われた「島津」に当時の活気を取り戻すことがミッション。着任後わずか10ヶ月足らずで、「あつつ焼（大判焼）」のお店をオープン。あつつ焼というのはかつての地域のソウルフード的おやつ。現代の感覚でブラッシュアップしながら、地域の方々から親しみを感じてもらっていた。京丹後市は農作物や魚介類など四季を通じて豊富な食資源が揃います。料理、動画配信といった自身の強みを活かしながら、「京丹後のおいしさ」を広く発信していきたい。

活動内容

●地域の方々が集える場の構築

気軽に楽しめる馴染みのある商品を提供する店舗を地域内にオープンすることで、自然と地域の方々の交流も盛んとなり、活気も生まれている。また、評判を聞きつけた地域外（京丹後市外の方も）からも人が訪れる目的地になった。
※現在、店舗閉鎖しイベントなどの出張販売準備中



●空き家の利活用

店舗を設けたのは、かつて食料品店だった店舗の跡地。近年増えている空き家は地域の課題。老朽化し大幅な改修が必要になる前に、活用事例を見せるのも大きな成果の一つ。空き家の所有者の方の意識（活用に前向きになる）の変革にも繋げたい。



●地域活動への参画

地域の拠点施設「島津ふれあいセンター」で放課後の子どもたちの見守り活動に参加したり、お祭りにあつつ焼の屋台を出店するなど、子どもたちからお年寄りまで、地域の方々と積極的に交流している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram　YouTube

京都府京丹後市　中里　佳史

地域コミュニティ活動

～　地域資源を活用した関係人口の拡大　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R5.12～R8.11

協力隊に応募したきっかけ

「地方移住」「独立」「関わる人が不幸にならない」この３つを実現するために、地域おこし協力隊の活動がぴったりだと思ったから。

今後の抱負･任期後の目標

活動エリアである「間人（たいざ）」の魅力を発信し、関係人口を拡大させること。特に海産物を中心とした地域の食資源と料理人経験や前職で培った営業力という自身の強みを掛け合わせ、自分にしかできない発信をしていきたい。あるモノを繋ぎ、連携することで新しいモノを生み出し、地域の魅力を最大限に引き出していけるような「地域商社」的役割を果たしていきたい。

活動内容

●地域活動への積極参加

地域の伝統である「みなと祭」「けんか祭」をはじめ、サロン活動、住民参加イベントなどに企画段階から参画し、ピザやスイーツの出店や調理教室など自身の強みを活かしたコンテンツを提供。新しい魅力を追加することで活性化を図っている。



●地域資源（地域を代表する産品）の開発

間人漁港で水揚げされた「こっぺ蟹（メスのズワイガニ）」と「沖ギス」を使用したパスタソースとアヒージョを製造。市内の道の駅などで販売中。間もなく第3弾販売開始予定、更に第4弾の試作中。その後に続く商品も企画しながら、販路拡大に向け精力的な営業活動も実施中。また、コラボによる商品開発を視野に入れたネットワーク構築にも余念がない。



●地域版ふるさと納税の推進

共感する地域をピンポイントで応援（納税）できる仕組みである「地域版ふるさと納税」を主体的に推進しています。地域で取り組むプロジェクトの企画・提案から応援者を募るPR活動まで、積極的に取り組んでいます。※間人弁Tシャツ制作



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）まるっぽ間人PJ　maruppotaiza

@MARUPPOTAIZA

京都府京丹後市　辻　実久

地域コミュニティ活動

～　地域資源(古代米栽培)の継承と里山暮らしの実践　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
宮崎県宮崎市
【転出元】
宮崎県宮崎市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.3～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

自給自足の暮らしを夢見る中、現地フィールドワークで訪れた弥栄町吉野校区の山やきれいな水に魅了されました。また、その時感じた地域の方々の温かさに移住を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

継承活動にも関わっている古代米をはじめ、地域で採れたジビエや野菜（自家栽培を目指す）を使った食事を提供するお店を開業したい。ゆくゆくは、里山での暮らしをゆったりと体験していただくオーベルジュを運営したい。

活動内容

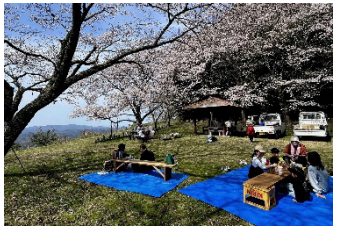
●古代米の継承活動

平城京への献上の歴史が残る古代米を芋野郷赤米保存会の中心メンバーとして、栽培活動はもちろん、収穫後の販路拡大、ふるさと納税の対応、参加型イベントの企画・実施など、継承活動を推進している。古代米を使った名物料理の開発にも着手している。



●地域活動への積極参加

地域で行われているサロン、お祭り、文化祭などの各種イベントの企画・運営の補助。また、新しく地域で取り組んでいる地域版ふるさと納税に関しては、プロジェクトの検討からPR活動まで精力的に推進している。



●里山生活の体現とその発信

お米・野菜・果物の栽培から、獣害対策（狩猟資格取得済）まで、受入地域の方々からの指導のもと、里山の暮らしの体現者として積極的にチャレンジしている。また、その様子をSNSで発信することで、地域への関係人口・移住検討者の増加を目指す。

自身の強みと地域の資源を掛け合わせた事業（飲食店開業）に向けた準備も着々と進行中。



連絡先

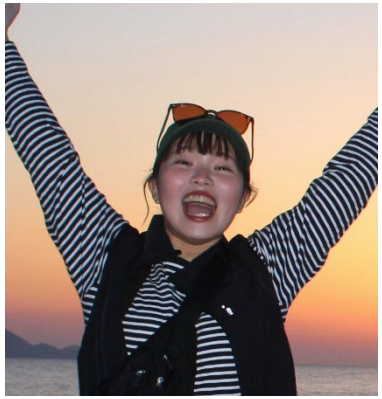
【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@miku.240322

京都府京丹後市　杉本　くるみ

地域コミュニティ活動

～　地域に元気を届けるコミュニティナース　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
兵庫県加古川市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.1～R10.1

協力隊に応募したきっかけ

“より深く人と関わり自分の行動で誰かの生活を豊かにしたい”という想いを持つ中、サッカーチーム〈KYOTO TANGO QUEENS〉を通じて京丹後を知り、何度か訪れるうちに自然の素晴らしさや、地域住民の方々のお人柄・結束力に強く魅力を感じ、地域おこし協力隊のミッションに関心を持ちました。

今後の抱負･任期後の目標

地域の象徴でもある清流：野間川を中心とした自然豊かな野間地域にて、サッカーやタッチフットボールなど様々なスポーツ経験で培った底なしの元気を地域の方々に届け、地域中を元気にしたい。

また任期終了後は、地域の方々と助け合いながら自然の中で生きるという協力隊活動を通じて得た経験を活かし、教育の現場に立ちたい。※教員免許あり

活動内容

●地域活動への積極参加

地域が実施するサロン活動や地域に飛び込み、野間地域ならではの暮らしを体感している。サロンはもちろんお米や野菜づくりを経験する中で、地域の方々との交流を深め関係性を構築することで元気を届けている。また近隣の綾部市のコミュニティナース経験者とも連携し、自分にできることを模索中。

●健康カレンダーの制作

地域を応援してくれる企業（地元出身が帰営する地域外企業）などと連携し、地域版ふるさと納税で集めた資金を活用し、地域の方々が日々の生活の中で、健康を意識し、健康な身体づくりが実践できるカレンダーの制作を進めている。※全戸配布予定

●地域内外への情報発信

地域内の方々へは、地域の広報誌を制作し、地域内の動きをお知らせしている。また、地域外へは、Instagramを活用し、豊かな自然やその自然の中で営まれている暮らしぶりなど、野間地域の魅力をタイムリーに発信している。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）のまのまど　nomano_mado
（YouTube）　https://youtu.be/x2QOkLeN9tE

和歌山県湯浅町　前口　あかね

～　地域ではぐくまれ続ける関係性づくり　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
３０歳
【出身地】
和歌山県和歌山市
【転出元】
兵庫県尼崎市
【前　職】
NPO法人
【活動時期】
Ｒ５.４～Ｒ７.３

協力隊に応募したきっかけ

湯浅町との出会いは学生時代の約１０年前になります。当時、和歌山市を中心に地域活性化を目的としたイベントなどを開催していた際に、湯浅町の方と出会い、大変お世話になりました。大学卒業後、将来的には地元和歌山で地域づくりの仕事がしたいと思い、スキルアップのため県外の地域づくりを行うNPO法人に就職し、コミュニティ運営や、イベント企画などを行ってきました。本来の目標であった和歌山での活動を考えているときに、思い入れのある湯浅町で地域おこし協力隊の募集があると知り、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

「人づくり、地域づくり、繋がりづくり」を理念とする社会教育の考え方に基づき、継続的な小規模イベントの開催でコミュニティ形成や学びの場を創出し、年に３回～４回の大規模イベントの開催で地域のにぎわい作り、多くの方に湯浅町を知っていただく機会づくりを行っていきます。また、駅前を活用したコミュニティ屋台プロジェクトを通して若者の表現の機会、プラットフォーム作りを行っていきます。任期後は、役場や地域の方から業務委託という形でこれまでの活動を続けていきたいと考えています。

活動内容

●湯浅町キッズサマーキャンプ

令和7年8月20-21日に「湯浅町キッズサマーキャンプ」では、学校の垣根をこえ、それぞれ約60名のこどもたちが参加した。今年は地域の大人との対話をメインにし、異年齢での協働、第三者の大人との関わり、地域連携などを体験した。



●柑食祭2025

柑橘の食べ比べイベント「柑食祭」の運営に入らせていただき、２回目のオープンイベントとして湯浅町伝統的建造物群地区で令和7年2月23日に開催した。町内外から多くの方々が来てくれて、特産品を広く広められることができた。



●ユアサビアフェス2025

令和7年8月23日なぎ広場にて飲食出店13店舗を集め、ユアサビアフェスを開催した。延べ4,000人の来場者数で盛況に終わった。地域の団体も協力してくれ、地域とのつながりも深まった。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））m.a.hagukumare@gmail.com
（電話番号（個人））　080-6155-8371
【活動の様子を発信しているSNS】
Instagram　@yuasa_to_akanemaru

和歌山県伊都郡高野町　宇奈手　侑子

地域コミュニティ活動

～　歴史と文化を活かし、杖ケ薮を未来へつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
奈良県　田原本町
【転出元】
奈良県　田原本町
【前　職】
書家
【活動時期】
R４.８～ R7.7

協力隊に応募したきっかけ

赴任先の高野町杖ケ薮は、高野七不思議の一つです。ここには、様々な歴史文化風習がありました。しかし、過疎化が進み、畑をしに通うものだけで、誰も住む者がおらず、廃村寸前になっていました。

この区の区長とともに、何とか、この村をもう一度もりあげたいと思いました。

パートナーが笛吹きなので、ここなら、大きな音が出せ夜でも吹けるというのも要因です。

今後の抱負・任期後の目標

２０２２年に生れた我が子が、村で６０年ぶりの誕生ということもあり、テレビや新聞等に我々の活動を取り上げていただき認知していただく機会となりました。おかげで、村の祭りにも所縁のある方々が来ていただけるようになりました。

少しずつ、この土地にも馴染みはじめ、任期後もじっくりと、この村が持続可能な場となるように知恵を絞ってやっていきたいです。

活動内容

●PR活動

任務地を書作や映像音楽、SNSを通じアピールしています。高野町内で展示などもしました。

テレビ和歌山やNHK和歌山,テレビ朝日、テレビ東京にもとりあげていただきました。今後も、メディアにも対応できるように工夫していきます。



●村内の案内や祭りの手伝い

杖ケ薮では月に４日、社に火を灯す、ヒトボシという風習がありました。そのヒトボシを、観光の一つとして復活させようとしています。

各社などの案内を通じ、杖ケ薮の歴史や風習などをお伝えしていきます。

村の祭事の際、餅つきやSNSでの宣伝もします。



●物販物づくり

村で祀られている各社の朱印作り、かつて配布された札のステッカー化、村名にある「杖」を活かし、金剛杖の揮毫や、お遍路巡り後、念珠などに再加工等の商品の開発。

和歌山は虚無僧尺八音楽の重要な場なので、その研究を通じ、古代尺八を見つめてみたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tuegayabu.okoshi@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
QRコード　インスタグラム（左）　youtube(右)
杖ケ薮地域おこし

TUEGAYABU

和歌山県伊都郡高野町　鬼河　ひなた

地域コミュニティ活動

～　旧白藤小学校から、アートで生まれる新たな交流　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
学生・芸術家
【活動時期】
R7.5～

協力隊に応募したきっかけ

大学院の卒業後、彫刻等の制作が出来る環境を探していた。学生時代に一度訪れた、Coffeeしらふじがある神谷地区で地域おこし協力隊を募集されることを知り、協力隊という仕事と、神谷地区に興味を持ちました。
協力隊に応募する前から、神谷には何度か訪れ、町の方々と少しお話しました。静かだけど、温かい神谷地区に惹かれました。

今後の抱負･任期後の目標

神谷地区は、参詣道として賑わいを見せた歴史や、訪れやすい秘境としてもっと注目されるべき場所だと感じています。まずは神谷を知ってもらう為の情報発信や、地域でのイベント企画はもちろん、各地のアーティストに呼びかけ、旧白藤小学校でのグループ展示が行いたいです。私含め、芸術家にとって神谷はとても魅力的に映るはずです。

活動内容

●Instagramでの情報発信

協力隊の活動や神谷での生活を発信する為、「Kamiya ni　kiiya!」というアカウントを作り、投稿をしています。
実際に2025年10月には、神谷に興味を持ち、ドイツで活躍 されている画家が神谷に来てくれました。Coffeeしらふじで、刀祢さんやスタッフと交流も行いました。



●夏野菜栽培とのペアリング

神谷の旧白藤小学校を一部リノベーションし、住人の方が　coffee　しらふじというカフェを営んでいます。私は土日祝の営業日はしらふじでコーヒーや食事の提供をしています。接客を通し、移住者の目線から神谷について知ってもらえるように努めています。



●地域活動の参加

coffee　しらふじはこの地区唯一のお店であり、神谷と他の地域を繋ぐ重要な場所だと捉え、小学校を中心に　イベントを企画しています。盆踊り等の町の風習を再び甦らせるとともに、新たにワークショップや、展示 企画なども進行中です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)
rogpot76@gmail.com
nagisora3373@gmail.com(作家活動用)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram @kamiya_ni_kiiya

@KAMIYA_2_KIIYA

和歌山県紀美野町　プリティ セルワニ

地域コミュニティ活動

～シェアハウスを起点とした若者の移住促進と地域コミュニティづくり～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
アーンドラ・プラデーシュ州
【転出元】
インド
【前　職】
ITエンジニア
【活動時期】
R6.11～R9.11

協力隊に応募したきっかけ

私はインドでITエンジニアとして働いていました。
企業での仕事を経て、もっと自然に近い環境で人と触れ合いながら働きたいと思い、地域おこしボランティアを選びました。
子どものころから日本の話をたくさん聞いていて、優しい人が多い国だと思い、日本に来ました。

今後の抱負・任期後の目標

私はあたたかいコミュニティをつくりたいと思い、また、田舎で仕事と私生活のバランスをとりながら暮らしたいと考えています。
田舎町である紀美野町の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。これからもこうした活動に取り組んでいきたいです。

活動内容

国吉地域の活性化

国吉シェアハウスでの生活を通して、私たちは地域の魅力を外の人たちに発信し、田舎での暮らしを広める活動を行っています。
また、30年ぶりに復活させた盆踊りの伝統行事を繋げることで、地域の活性化と地域住民が集える場づくりにも取り組んでいます。さらに、国吉で仕事を始めたい人や移住を考えている人たちをサポートし、地域内のさまざまな仕事の機会を紹介することで、より多くの人が国吉で活躍できるようなお手伝いをしたいと考えています。





情報発信・広報活動

「note」や「Medium」などのオンラインプラットフォームを活用し、私たちの活動やイベントの様子を発信しています。
また、地域の皆さんに最新の取り組みを知ってもらうために、国吉で毎月ニュースレターを発行しています。
このニュースレターでは、地域で行われているイベントやプロジェクト、ボランティア活動などを紹介し、住民同士の交流を促進しています。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））preethiservani.kimino@gmail.com
（電話番号（職場））070-9185-0621

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Knotscommunity instagram

KNOTS_WAKAYAMA

島根県浜田市　上代　美帆

地域コミュニティ活動

～　美又共存同栄ハウス事業　～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
島根県松江市
【転出元】
島根県松江市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.5～

協力隊に応募したきっかけ

大学時代、浜田市金城町にあるシェアハウスに住み、地域の方と関わる中で名前や顔を覚えていただいたり、やってみたいことに快く協力・応援してもらえたことがとても嬉しく、忘れられない思い出になりました。

卒業後は、地元の松江市の会社に就職しましたが、大学時代のつながりは途切れず、多い時には月2～3回浜田市を訪れていました。

そんな時、学生時代から関わりが深かった金城町の美又地域にある「美又共存同栄ハウス」で協力隊の募集があることを知り、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

美又共存同栄ハウスを軸に、美又地区をはじめ、金城地域のファンの方を増やしていきたいです。

地域の方の想いが詰まった建物を、さらに多くの方に利用していただける企画づくりや情報発信に取り組んでいきます。

活動内容

●「ここに来ればみんなに会える」場づくり

「美又共存同栄ハウス」は、地域から長く愛されてきた築88年の旧農協施設をリノベーションし、宿泊やイベントができる交流施設です。この施設を中心に、宿泊や研修の利用対応、イベントの企画・補助を行っています。

また、毎週金曜日の10:00～15:00は、オープンデーとして施設を一般開放し、建物ガイドやスマホ・パソコン相談窓口を実施しています。





●美又の地域資源発掘に向けたイベント開催や商品プロモーション

美又共存同栄ハウス周辺の美又地域を学ぶ「ローカルスタディ」や、金城町「さざんか祭り」での活動紹介展示を実施しました。

また、美又温泉の入浴剤の箱パッケージデザインにも取り組みました。



●地域住民とのつながりづくり

美又共存同栄ハウスのある追原郷の自治会に参加しており、毎月の集金常会への出席や、自治会行事、地域イベントへの参加を通じて、住民との交流や地域活動の支援に取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））
mimatahouse@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（公式HP）https://mimatahouse.com/
（Instagram）https://www.instagram.com/mimatahouse/

Instagram
@mimatahou

岡山県岡山市　室屋 恭平

地域コミュニティ活動

～　町の魅力再発見！まずは地域に住む人に表町の良さを伝え隊！　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R７.１～

協力隊に応募したきっかけ

以前、岡山県倉敷市で5年ほどサラリーマンとして働いていました。岡山で出会ったお客様やプライベートでできた友人がいい人ばかりで、『第二のふるさと』と感じるほど大好きな場所になりました。いつか岡山に貢献したいと思っていたところ、表町商店街での募集情報を見つけ、自身のスキルを提供できればと考えて応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

地域の歴史や魅力をしっかりと理解し、その良さを大切にしながらも、「よそ者」だからこそできる発想で商店街の課題解決に取り組んでいきたいです。
２年目は、1年目に主催したイベントの継続実施、地域の皆様との関係深化、任期後の収益の柱を作ることに取り組んでいきたいと思います。

活動内容

●商店街の情報発信

表町商店街の公式Instagramの運用をしています。商店街 のイベント情報や、組合員様にインタビュー・写真撮影をさ せていただき投稿内容を作成しています。また、月に一度ラジオ番組の地域情報発信のコーナーに出演させていただき商店街のイベントや店舗情報を発信したり、商店街の新規出店店舗のコーナー出演の斡旋をさせていただいています。



●商店街の賑わい創出

表町商店街で自身が主催して古着屋さんのポップアップイベントを実施しました。2日間で約3000名の方が来場し、普段の表町商店街と違う雰囲気を楽しんで頂きました。今後、年に3回を目標に継続開催し、商店街の賑わい創出と出店誘致につなげていきたいと考えています。



●商店街の空き店舗解消

商店街や周辺地域の方とのつながりを生かし、商店街の空きテナントへの出店誘致をしています。着任から10か月で3件のテナントを誘致しました。
地域の皆様と密にコミュニケーションをとることで、出店希望者の情報が入ってくる状況を作っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））muroya.omotecho@gmail.com
（電話番号（個人））080-3033-6721

岡山県井原市　平城　智恵子

地域コミュニティ活動

～　地域に眠った宝を「起こし」、人が「お越し」になる地域づくり　～

基本情報



【年　齢】
62歳
【出身地】
福岡県嘉麻市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
ボランティア団体職員
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

まちおこしや地域づくりに興味があり、社会教育分野やボランティア団体で働いてきたので、その実績を活かしたいという思いがあった。たまたま訪れた井原市の風土が気に入り、地域情報を検索していたら、井原市いずえ地区の地域おこし協力隊募集の情報を見つけた。活動内容がピタリと合っていたので迷わず応募した。

今後の抱負・任期後の目標

「古本で出会い、古本で交流、古本で地域おこし」と銘打って、一箱古本市をこれまで２回開催した。今後も引き続き継続して開催し、任期後は軽バンによる移動書店を開業することを目標にしている。地域では図書館や書店へのアクセスが課題なので、子育て中の親子が絵本やおもちゃに触れる機会を届けてゆきたい。また、いずえ地区の歴史研究会による、史跡案内冊子の紹介にも力をいれたい。

活動内容

●いずえ地区まちおこし協議会の運営サポート

部会単位でまちおこし活動を企画し自主的に取り組んではいるが、会計や事務処理を担う人材が不足しているので、サポートしている。



●いずえ地区内の広報発信、地域活動の記録

・情報誌「ふるさと出部」（A４版、２０ページ、２５００部、年３回発行）の編集、発行とSNSの更新
・地域イベントの写真を撮影し、地域の記録として保存



●「一箱古本市いずえ」の開催

フリーマーケットとしての一箱古本市開催のコーディネーター、推進役を担当している。実行委員会を結成し、地域外からの出店者と地域住民の交流が深まるような運営をしている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】　いずえ地区まちおこし協議会（いずえ公民館内）
（メールアドレス（職場））izue-km@ibara.ne.jp
（電話番号（職場））0866-62-3960

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）　hitohako_huruhonichi_izue

HITOHAKO_HURUHONICHI_IZUE

岡山県井原市　小野　美佳

地域コミュニティ活動

～　住民に寄り添い、笑顔と元気を増やす地域活動を　～

基本情報



【年　齢】
50歳
【出身地】
岡山県倉敷市
【転出元】
岡山県倉敷市
【前　職】
自治体会計年度任用職員
【活動時期】
R７.６～

協力隊に応募したきっかけ

子育ても終わり、自分の経験を活かして地域や人の役に立つことがしたいと思ったのがきっかけです。
両親の故郷でもある井原市なら、より愛を持って高齢者や地域の方に寄り添い、安心して暮らせる地域づくりに貢献できると思いました。

今後の抱負･任期後の目標

移住者が増え、地域ぐるみで子育てできる町。
住民同士が交流を深め、支えあい、いつまでも健康で長生きできる居場所づくりに尽力したいです。

活動内容

●地域住民の交流拠点

空き家を活用した居場所づくり。
毎週金曜日の１０時～１７時まで、地域の交流拠点として、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいただいています。特産品の野草茶の試飲や手作りおやつ、差し入れなども来られた方々に提供し、ハンドセラピーなども行っています。



●地域の情報発信

のがみタイムズの発行。
地域の行事や、協力隊が開催するイベントなど野上町内の情報誌を毎月発行しています。季節の花々なども喜ばれ、楽しみにしてくださっています。



●地域住民への相談支援

高齢者見守り訪問。
地域の高齢者宅に訪問し、困りごとの相談支援。
１人暮らしの方への健康状態など、３０分くらいお話を聞くだけでも喜んでいただけています。
家族構成、電話番号などもお聞きし訪問リストを作成しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）mikaono413@outlook.jp
（電話番号（個人）　）090-2009-7744

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（のがみぐらし）https://nogami.club



岡山県岡山市　佐倉　涼太

地域コミュニティ活動

～　eスポーツを活用した地域活性化！　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
岡山県新見市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
サービス業
※主にeスポーツイベントを担当
【活動時期】
R7.3～

協力隊に応募したきっかけ

私は高校生の頃にeスポーツの全国大会で実績を残し、その後プロゲーマーやeスポーツイベントディレクション、教育者として活動してきました。 これらの経験を通して、イベントには人をつなぎ、感動を生み、地域や世代 を超えて人を動かす力があると実感しました。その力を、商店街はもちろん のこと、県内・地域コミュニティで活かしたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

既存のイベントをお手伝いするのはもちろんの事、商店街の皆様や地域の教育機関、eスポーツ関連団体と連携し、自身の強みを生かしたイベントを運営していきたいと思っています。また、地域企業や団体と の連携を深め、企業交流イベントや家族向けイベントなど、多様な形で地域 の活性化に貢献したいと考えています。またSNS発信では写真を活用した投稿を通じて商店街の魅力を多様な世代へリーチしていきたいと存じます。今後は動画作成も視野に入れて活動していきたいと思います。

活動内容

●既存イベントのお手伝い



ゴールデンフェスタ・よりより夜市・サタデーナイトカーニバル・大誓文払いなど既に文化として根付いているイベントのお手伝いを行っています。
商店街の特色の確認や地域住民との交流の機会をいただきながら、商店街イベントの難しさを学ぶ機会もいただいております。

●商店街イベント“マチナカ学祭”の制作



文化が途切れてしまったイベントを復活させるべく自身が初めて行ったイベント制作です。駅前商店街に岡山県内の大学（サークル）・専門学校（サークル・部活動）・高校（学校・学科単位）へ出店依頼を行い、マチナカで学祭を行いました。これにより若い世代へ商店街の魅力を伝える機会となりました。

●新規eスポーツイベントの制作



ビックカメラ岡山駅前店様と岡山ビジネスカレッジビジネスeスポーツビジネス学科のイベントサークルの皆様にご協力いただき、eスポーツ大会を開催に向け企画・制作しております。
既にeスポーツで活性化を図っている岡山駅前商店街のeスポーツの聖地化へ尽力させていただきます。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））akabufflol@yahoo.co.jp
（電話番号（個人））080-2908-9319

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/okayama_shoutengai/

@OKAYAMA_SHOUTENGAI

岡山県岡山市　北島　竜平

地域コミュニティ活動

～表町商店街のことなら、一回聞いてみられぇ～

基本情報



【年齢】
３５歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前職】
建設業
【活動時期】
R6.10/1～

協力隊に応募したきっかけ

数年前に仕事で岡山へ訪れた際に、ご縁のあった表町商店街の方から、地域おこし協力隊の制度の情報を教えていただいたことがきっかけでした。
全国的にも増えつつある商店街の空き店舗を再稼働に繋げること、年々増えつつあるインバウンド観光で訪れた方に「来て良かった」や「また来たい」と思ってもらえるような商店街にすることを目指して、今回応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

空き店舗や未活用物件の再稼働に繋げたり、現在も営業を続けている老舗のお店などの売上向上にも繋がるイベントを開催したり、地域の方々と一緒に「岡山に来たなら、表町商店街へ行きゃえぇがぁ」となるような商店街にしていきます。

活動内容

●未活用物件の再稼働

約２０年前に元店主さんの急逝から、シャッターを閉じたままだった食器屋。時を超えて。２０年ぶりの閉店セールを行うために、清掃や店舗の運営を商店街の方々と一緒に行いました。



●スタンプラリーイベントの実施

猛暑日が続くと商店街の売り上げが下がるという店舗の方々のお声をいただき、夏でも商店街に行ってみたくなるような企画を表町商店街の公式Instagramと連動して開催しました。



●SNS・地域メディアへの情報発信

表町商店街の新しい店舗やイベント情報、おすすめスポットなどの情報を、地域ラジオ・Instagramを通して発信しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））okayama.ryohei.k@gmail.com
（電話番号（個人））080-5709-6725
【活動の様子を発信しているSNS】
（地域おこし協力隊）　（公式 表町商店街）

広島県廿日市市　狩山　穂香

地域コミュニティ活動

～　"やってみよう"の一歩で地域に笑顔を届けたい　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
広島県竹原市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
栄養士
スポーツジムフロントスタッフ
【活動時期】
R5.5～

協力隊に応募したきっかけ

現在、地域支援員の活動とは別にラジオ局でも働いています。そこの局長から地域支援員を紹介してもらったのがこの活動を知るきっかけでした。そこから、現地域支援員の方や以前地域支援員されていた方のお話を聞き、興味を持ったことが応募をしたきかっけです。
廿日市の商店街のたくさんある魅力を多くの人に知ってもらえる活動ができればと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

今後は商店街の情報発信や空き店舗の情報収集、活用方法など商店街の皆さんと一緒に取り組んでいきたいです。
また、行政や事業者の方との繋ぎ役になり、今まで実行に移すことが難しかった部分でサポートができたらと思っています。

活動内容

●商店会イベントの運営サポート

商店街で開催されるイベントの企画から携わり、出店者集めやチラシの作成をしたり、当日の運営も参加させていただいています。
新たなことにチャレンジしながら、イベントが継続できるようサポートを行っています。



●学生との連携

若い方に商店街をもっと知ってもらおうと、商店街の近くにある大学の学生とまち歩きを実施しました。
商店会会長にガイドを依頼し、お店や街の歴史など紹介していただきました。
また、2つの商店会の共同出店という形で大学祭にも参加させていただきました。



●SNSや紙媒体を活用した情報発信

Instagramと紙媒体を活用し、店舗紹介やイベント紹介などを行っています。
昨年度に引き続き、「商店街廿っけん」という冊子を作成し、今年度は発行回数を増やし新聞折り込みでも配布しています。Instagramでは、簡単な動画も作成し、より多くの方の目に止まるように工夫しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））sangyo@city.hatsukaichi.lg.jp
（電話番号（職場））0829-30-9140
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
地域支援員ホームページ　https://201community-supporters.com/
商店街活性化担当地域支援員Instagram　@rivero_0425

山口県周南市　上野　由宇

地域コミュニティ活動

～　住民で支え合い暮らし続けられる仕組みづくり　～

基本情報



【年　齢】
44歳
【出身地】
広島県広島市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.8～

協力隊に応募したきっかけ

以前から近隣県への移住希望があり、特に魅力的な景観やスポットが多い山口県への移住を検討していました。

コロナ禍を経て自身を見つめ直す中で、個人事業主として生計を立てる道を模索するようになりました。協力隊は移住・定住の支援、起業支援の体制が充実している事を知り、山口県の協力隊で検索。周南市須金地域の見学会に参加し、自然豊かな土地柄、個人事業主の先輩がたくさんいらっしゃる事に魅かれて、応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

まずは地域の方々に地域おこし協力隊員として受け入れてもらえるように、地域の方々との交流に一層励んでいきます。地域との信頼関係を深めて、徐々に実績を積み上げていけたらと考えています。

任期後は地域に貢献ができて、自身の生活の基盤となるような仕事ができるような道を模索中です。がんばります。

活動内容

●地域内の関係性づくり

まずは地域をよく知り、自分を知ってもらえるように、様々な地域行事や、イベントに参加しております。まだまだ勉強する事は多いですが、少しずつ前進していると実感できています。

最近は消防団にも加入し、地域の一員としてさらに溶け込めるように日々奮闘中です。



●関係人口を創出するSNSでの情報発信

地域住民が運営するフォトコンテンストの運営支援等をお手伝いしました。

人口の少ないこの地区に、地区外から多くの方が来てもらえるよう情報発信をしたり、地域の皆さんと一緒にイベントを企画したり、地域の魅力を発掘・発信していきます。



●地域の活動拠点の運営改善への参画

地域の観光資源、梨とぶどうの観光農園「須金フルーツランド」の入り口にある「ふれあいプラザ須金」を地域活動の拠点として、プラザを盛り上げて、維持していく活動、そのほか新商品の開発や高齢者福祉など、色々なことに挑戦していきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） ueno.chikiokoshi2025@gmail.com
（電話番号）0834-86-2201

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（周南市地域おこし協力隊）Instagram

佐賀県唐津市　椎葉　陽一

地域コミュニティ活動

～　唐津七つの島と応援者をつなぐ！コミュニティづくりの仕事　～

基本情報



【年　齢】
５６歳
【出身地】
宮崎県日向市
【転出元】
長崎県新上五島町
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R６.５～R９.３

協力隊に応募したきっかけ

ミッションは「唐津市内にある七つの島と、唐津市民を中心とした島外の人たちとをつなぎ、島を応援するコミュニティを醸成すること」とされているが、既に経験した事がある有人離島での地域おこし協力隊という活動が楽しく、再度離島をフィールドとした協力隊としての活動先を求めていたところ、唐津市の募集内容であった上記ミッションが自分の望みと一致し、取り組みがいを感じたために応募した。

今後の抱負・任期後の目標

これまで以上に既存の島ファンを見付けて繋がり、並行して新規の島ファンづくりのために、SNSを活用した島の行事の紹介や、自主企画のイベントの開催を行いたい。

任期後のイメージは、七つの島を訪問した方達が、良い思い出と一緒に持ち帰る事ができる記念品的なモノ作りに関われたらと考えている。

活動内容

●敬老祝いの記念写真撮影会

以前は記念写真やスナップ写真を撮るカメラマンだったので、そのスキルを活かした撮影会を担当地域で開催し、2年間で120名以上を撮影している。撮影の合間にその土地の歴史を教わり、暮らしの中での困り事を聞く機会としながら各地区の方々と交流を深めている。



●島内散策×ポタリングを提案

定期船の運行時間により滞在可能時間が限られる離島において、徒歩よりも散策範囲を広げられる「電動アシスト付き自転車」というツールの使用を提案している。散策中は地区に住む方々との交流を行い、「景色と人」ではなく「人と人」を繋げる活動としている。



●交流イベントの開催

同一ミッションの丸山隊員と共に交流イベントを開催している。
令和7年度は、1つの地区をモデルケースに参加者を募り、Day1で魅力発見、Day2でその活かし方のイメージ作り、Day3で地区の方々への紹介及び意見交換という構成で実施する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））7shima.shiiba@gmail.com
（電話番号（職場））0955-72-9220

【活動の様子を発信しているインスタグラム】
（唐津暮らし）@8_carat.shiiba
（共同インスタグラム）@8_carat.karatsu

@8_CARAT.SHIIBA

佐賀県唐津市　丸山　歩燦

地域コミュニティ活動

～　唐津七つの島と応援者をつなぐ！コミュニティづくりの仕事　～

基本情報



【年　齢】
２７歳
【出身地】
長崎県長崎市
【転出元】
兵庫県尼崎市
【前　職】
事務
【活動時期】
R６.５～R９.３

協力隊に応募したきっかけ

都会での生活に疲れを感じて、実家がある九州への移住を考えていました。移住先は「海のある地域」を条件に、埼玉出身の夫と長崎出身の私がそれぞれ帰省しやすい場所を探していました。その折、以前訪れて風景の良さが印象に残っていた唐津の面白そうな募集を見つけて、思い切って応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在は、島と島、そして島と本土とが海を越えて繋がるようなイベントを企画・開催をしています。イベント自体はあくまで「きっかけ」に過ぎません。その場を通じて、日常の中でも人と人との繋がりが深まっていくことが理想だと考えています。少しずつそうした関係が形になり始めているので、任期の間にその輪をさらに広げ、つながりをより濃くしていけたらと思います。今後も「繋がる機会」や「関係を続けられる場づくり」を大切にして活動していきたいです。

活動内容

●島を知ってもらうきっかけづくり

「島あるき」というイベントをこれまでに３回開催しました。このイベントは、「島に興味はあるけど1人で行っても楽しみ方が分からない」という方々の声に応えて実施したものです。島の特色に合わせてコースや内容を変えています。島の方に案内をしてもらうこともあります。



●島を知ってもらうきっかけづくり２

島で活動されている事業者の方々と協力し、イベントを開催してます。飲食店と連携して島食材をつかったランチ付きワークショップを開いたり、高齢者施設のスペースをお借りして郷土料理作り体験を行ったりしています。



●交流会の開催

島同士、また島と本土が繋がっていくことを目的に交流会を開いています。島で活動されている方をスピーカーに招いて活動を紹介してもらったり、参加者全員で島を歩いてお気に入りの場所を見つけ地図にまとめたり、島について考えるグループワークを行ったりしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））7shima.maruyama@gmail.com
（電話番号（職場））0955-72-9220

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（個人インスタグラム）@8_carat.maruyama
（共同インスタグラム）　@8_carat.karatsu

熊本県上天草市　太田　弘樹

地域コミュニティ活動

～　地域おこしコーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
５４歳
【出身地】
熊本県上天草市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
タレント(現在も一部継続)
【活動時期】
R６.５～R９.４

協力隊に応募したきっかけ

中学卒業と同時に故郷を離れ、３7年間生活してきました。気がつけば、故郷を離れた期間が、暮らしていた時間よりもずいぶん長くなってしまい、自分で選んだ道ですが、長年タレントとして活動する中で、故郷・上天草に対する想いが強くなり、もっと上天草と関わりのある時間を増やしたい、何か今の自分に役に立てることがないかと思っていた中、地域おこしコーディネーターという上天草全体に携われる活動内容に魅力を感じ、応募させて頂きました。

今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負としては、現在取り組んでいる情報サイトや活動の拠点となる人と情報が集まる場所づくりをしたいと考えています。地域の人や観光客に開かれた拠点が理想です。任期後の目標としては、今取り組んでいる着地型観光サービスの事業化、長期実践型インターンや兼業副業をはじめとした地域人材などのコーディネート業を中心にしながら情報発信活動も取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●地域課題の可視化

地元事業者・観光地・イベント関係者への取材・ヒアリングを通じて、地域の現状や課題を把握し、新たな地域おこし協力隊の案件組成や市の担当部署との調整を行い募集要項の作成を行う。
また、取材内容を基に記事・映像・SNSでの発信を行っている。

●地域課題解決に向けたマネジメント業務



ヒアリングによって分かった地域課題を解決するために、本市では初の取り組みとなる「上天草ベンチャー留学」を実施。インターン生が１か月間、ただの職場体験ではなく、これまで企業がやりたかったけど出来なかったことを企業と一緒に成功に向けて取り組む事業を実施。３事業所５名の実績。

●地域の「ひと」「モノ」「こと」についての情報発信

温泉、アクティビティなどではなく、地域でのヒアリングを行っていく中で感じた地域に居を構える「人」に焦点を当てたサイトを作成。地域の空気感や熱量を伝える“場”、他の地域とを結ぶつながりの“場”、新たな魅力の再発見の“場”。「あまくさのファンを増やすきっかけのポータルサイト」を目指し日々取材・執筆・投稿を行っている。

AMAKUSA AREA ばっ! あそびば･かたりば･たまりば

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kikaku@city.kamiamakusa,lg.jp
（電話番号（職場））0964-26-5539

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（あまくさエリアの情報サイト“ばっ!”）https://amakusa-ba.com

熊本県天草市　御所浦島　鶴田　桃子

地域コミュニティ活動

～島の暮らしのデザイン～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大分県宇佐市
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
武蔵野美術大学　学生
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

武蔵野美術大学と天草市の連携協定により実施された「天草産学連携プロジェクト」に在学中に参加し、天草で１ヶ月暮らす中で御所浦島に訪れたのが最初のキッカケ。
その後、島の暮らしにスポットを当てた卒業制作に１年間取り組んだ。その中で本当にたくさんの方々の生活や考え方、生き様に触れていくうちに、島の皆さんと暮らしたくなり、大学の恩師などの協力もあり、協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

今年度以上に、周りに住んでいる島民の方々と一緒にものづくりをしたり、イベントを行ったりしていきたい。まずは島内で盛り上がって、それが町を越えて伝わることが目標。
たくさんの人が重なって暮らしており、自然に素早く手伝ってくれる。私は知らないことが多く、ご好意のお返しもまだまだ下手なので、もっと注意深く生活を観察する。

活動内容

●島内のデザイン業務に取り組む

観光案内のマップやチラシ、ポスター、地域のお店のロゴ作りなどのお仕事をいただいている。
デザイン練習のため、毎日ひとつグラフィックを作り、SNSに投稿している。



●武蔵美生　流木作品展示会開催

御所浦の流木を使って卒業制作を行っているという武蔵美の後輩に声をかけて、御所浦で展示を開催してもらった。海まで軽トラで行き、巨大な流木を運び島民と準備。離島だけど3日間で120人の方々がいらっしゃった。多い来場者だと思いたい！



●古民家を、人が集まる場所へ

元々酒屋だった店舗部分を改修していただき、住みながら拠点を作っている。再び少しずつ、多くの人たちが集まる場所になってきている。
イベントがない、通常時にも持って気軽に入っていただけるような店舗内のデザインを考案していく。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）otsuruturuturu@icloud.com
電話番号（個人） 070-2395-1815

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@nakanna.jp. 芦北屋商店

熊本県南関町　佐藤　慧

地域コミュニティ活動

～　図書館を起点に、人と地域の新しいつながりをつくる　～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
福岡県北九州市
【前　職】
司書
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

司書としてのキャリアが10年を越え、この先の自分のビジョンについて考えているときに、南関町地域おこし協力隊の募集について知りました。
歴史豊かな町に新しい図書館ができ、地域の多世代交流の拠点となる。そして、これまでの知識や経験を活かしながら地域の方のお役に立てるという点に魅力を感じ、応募を決意いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

開館から1年が経ち、地域の方々や関係者の皆さまに支えていただきながら、さまざまな業務や取り組みを進めてくることができました。任期も折り返しを迎え、これまで構築してきた各業務のフローや運営の仕組みを、今後は自分だけが担うのではなく、関係者へ確実に引き継ぎ、任期終了後も継続して運営できる体制を整えていきたいと考えています。

活動内容

■　プレイングマネージャーとして図書館運営をサポート

2025年10月に開館した南関町図書館〈このみch-i〉で、司書・管理職経験を活かし、図書館運営全般を支援しています。円滑な業務運営に向けた体制整備に取り組み、開館9か月で初年度来館者目標10万人を突破。今後は業務の整理・共有を進め、持続的な運営体制の構築を目指します



●本をツールにしたコミュニケーションの場づくり

本を通じた交流の場として、地元企業やカフェ事業者と連携し、ブックコミュニティを立ち上げました。月1回「本が読みたくなる話」と題したトークイベントを開催。経営者、編集者、ライターなど多様なゲストを招き、本をきっかけに現役世代が学び、交流できる場をつくっています。



●南関町交流拠点施設〈ukara〉の運営

旧温浴施設を改修して整備された南関町交流拠点施設〈ukara〉で、施設の活用促進に取り組んでいます。今年度は、映画上映会や企業と連携した焚火イベント、カフェ事業者と共催したマルシェなど、多彩な企画を実施。地域の交流や学び、にぎわいを生み出す新たな活用方法を提案しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））biblio.824lib@gmail.com
（電話番号（職場））　0968-53-3766
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
南関町交流拠点施設〈ukara〉Instagram
https://www.instagram.com/nankan.kouryuukyoten/

大分県大分市　平野　綾子

～　地域の魅力を次世代へ　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
大分県大分市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
個人事業主
（舞台芸術 / 福祉関係）
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

腰の手術後、静養するため大分の実家に一時帰省をした際、大分の魅力を再発見し、「本当の豊かさとは何か？」ということを考えるようになりました。大分と20年間前職の活動拠点であった東京、この先どちらで生活するか悩み始めた矢先に地域おこし協力隊の制度について知りました。同じ時期に、地元である大分市大南地域で活動する協力隊員を募集していたことも後押しとなり、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

任期中は地域の団体と連携を取りながら、次世代の子どもたちが地域の魅力を感じ郷土愛を育むことができるようなイベントの企画ができたらと思います。
また、私が活動している地域では放置竹林が地域課題となっています。任期後は放置竹林の対策に取り組んでいる団体と連携しながら、食用竹炭や竹チップを用いた酵素浴を新たな地域の名物にするなどポジティブな特色に変えられるような取り組みをしたいと考えています。

活動内容

●地域コミュニティ支援

私が活動している地域には、江戸時代末期から残る街並みを保存する街づくり団体や、豊かな自然を次世代に継承するため森林整備を行っているNPO法人があります。慣れ親しんだ素晴らしい景色があるのは先人たちの努力の結晶だと感じています。その方たちの思いをくみ取りつつ、団体の活動を支援しています。



●地域資源を活かしたイベントの企画および情報発信

地域で活動する団体と連携したイベントの企画や運営支援をしています。
各団体の高齢化に伴う後継者不足を解消するために、積極的にSNS等による情報発信を行っています。
また、次世代の地域の子どもたちが印象に残るような企画を考えることを心掛けています。



●地域の新たな魅力の発掘および情報発信

一度地元を離れたからこそ気がつく魅力があります。豊かな自然、歴史的建造物、郷土料理等は地元の方にとっては当たり前にあるものですが、地域外の方にとってはそうではありません。そんな地元の魅力を発信するべく、画像・動画を市協力隊Facebookや市公式Youtubeに投稿しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）dainan@city.oita.oita.jp(職場)
unfruitful.info@gmail.com(個人)
（電話番号）097-597-1000(職場)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（大分市地域おこし協力隊Facebook）
https://www.facebook.com/oitashichiikiokoshikyouryokutai?locale=ja_JP

宮崎県都農町　入江　庸子

地域コミュニティ活動

～　定住促進のためのコミュニティづくり　～

基本情報



【年　齢】
43歳
【出身地】
千葉県松戸市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
整理収納アドバイザー
【活動時期】
R6.7～R9.3（予定）

協力隊に応募したきっかけ

旅行好きが高じ、ひと味違った旅体験をしたいと感じていた時に、株式会社タイミーの観光しながら暮らしと仕事体験ができるタイミートラベルのサービスを知りました。それをきっかけに訪れた時が初・宮崎県で、1週間滞在したのが都農町でした。国内での移住願望はゼロでしたが、地域の方の温かい人柄、気候の良さ、海・川・山が隣接し滞在中に見た虹の大きさに、憧れのハワイの雰囲気を感じました。都農町で暮らすことができたら心地が良さそうと思い、この時に協力隊という制度も初めて知り、関心を持ち応募しました

今後の抱負・任期後の目標

町内での交流ひろばの認知度を向上させ、より多くの町民の方が集う居心地が良い場所づくりを行っていきたいです。今後、朝食交流会や柚子胡椒づくり交流会、町内事業者の方とコラボレーションをした交流の機会などを創出していく予定です。移住者、地域おこし協力隊及び都農町議員との意見交換会も企画しています。協力隊卒業後は都農町内で、交流の場づくりや町のお困りごとをヒアリングして問題解決できるような場づくりを行っていきたいと考えています

活動内容

●ドレッシングのレシピ開発・パッケージデザイン・販売

町の課題であった規格外・廃棄作物を有効活用するために、加工品づくりを行いました。未経験分野ということもあり、県が主催する研修を受講し、コンセプト固めから行い、町内の道の駅で販売、現在はふるさと納税の返礼品にも出品しています



●交流ひろばの運営

定住促進を目的とした、移住者と地域住民が気軽に立寄れる交流の場を週3-4日開放しています。
通常は、町民の方がお喋りをしに立ち寄ったり、休憩できる場として開放し、年に数回イベントを行い、その時のテーマを元に大人数で交流し、町内の顔見知りを増やし定住しやすい環境づくりを行っています



●規格外品有効化の一環

規格外・廃棄作物の有効化の一環で、複数の農家さんを周り、実際に農作業を行いました。譲っていただいた規格外農作物を使い、町内の寮で生活する高校生と調理実習を行いました。規格外農作物をこども食堂にお渡ししたり、買取業者さんにお繋ぎすることで、収益化し、農家さんの所得向上への取組みも行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））irieyokomail627@yahoo.co.jp
（電話番号（個人））080-4875-0627
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/tsuno_kyoryokutai_irie?igsh=azRnbzUxNHg3Ymcz

@TSUNO_KYORYOKUTAI_IRIE

鹿児島県屋久島町　藤本　将也

地域コミュニティ活動

～　観光案内所の運営（観光案内及び情報発信）～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

この地域おこし協力隊へ応募しようと考えたきっかけは島民の方からのお誘いでした。学生時代に口永良部島で３年間魚類の研究活動を行い、その生活の中で島民の方と良好な人間関係を築くことができました。卒業後も連絡を取っていましたが、地域おこし協力隊の募集がある際に受けてみればとお声をかけて頂きました。私も口永良部島の自然環境が好きでこの島で生活したいと考え地域おこし協力隊へ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

口永良部島は噴火から10年目を迎えました。人口の減少や高齢化により行事の担い手不足が問題となっています。私は現在2年目の隊員として定住に向けた活動を進める準備を行っています。任期後は口永良部島に定住し地域の活力を維持できるよう貢献したいと考えています。

活動内容

●地域のマンパワー

100人の島の1人として、地域行事や島民の手伝いに取り組んでいます。
草刈り・温泉掃除などの日々の活動から、地域行事のお手伝いまで、地域のマンパワーとして日々奔走しています。



●観光案内、情報発信

観光案内所の運営の傍ら、 SNSを通して観光情報や災害情報など、小さな島の情報発信活動をしています。また観光情報を充実させるためにアンケート調査を実施し来島者の意見を収集しています。



●定住活動

定住活動として漁業従事の補助や狩猟免許を取得し有害鳥獣駆除への参加の準備を進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス　個人）japango10@gmail.com
（電話番号　個人）080-1193-8223

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/YakushimaTownChiikiokoshi